



## 2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月10日

上場会社名 ポパール興業株式会社  
コード番号 4247 URL <https://www.poval.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松井 孝敏

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鈴木 哲彦

TEL 052-419-1827

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日

2023年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	1,886	4.0	189	0.9	195	5.9	106	21.0
2023年3月期第2四半期	1,814	2.1	191	14.4	208	15.0	134	17.4

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 185百万円 (0.4%) 2023年3月期第2四半期 184百万円 (0.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	40.33	
2023年3月期第2四半期	51.04	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	6,802	5,680	83.2	2,148.52
2023年3月期	6,653	5,543	83.0	2,096.55

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 5,660百万円 2023年3月期 5,523百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		18.00		18.00	36.00
2024年3月期(予想)		18.50		18.50	37.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,623	1.6	381	3.5	410	7.1	238	6.7	90.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	2,634,800 株	2023年3月期	2,634,800 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	226 株	2023年3月期	226 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	2,634,574 株	2023年3月期2Q	2,634,574 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界情勢は、各国の政策金利の引き上げや中国経済への先行き懸念が高まるものの、全体としては緩やかながらも回復基調をたどりました。

日本国内においては、半導体の供給不足が徐々に解消に向かい、生産活動が好調に推移した一方、原材料・エネルギー価格の高止まりや賃金上昇等によるインフレ、為替の変動など、依然として不透明な状況が継続しております。

このような状況の下、当社グループは次世代半導体用研磨パッドの販路拡大や生産性改善による製造コストの低減などによって収益向上を図ってまいりました。一方で、約10億円を投じ、2024年12月竣工予定の工場棟建替え及び生産工程の合理化を推進しており、これに伴い解体・移設費用等が発生しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,886百万円（前年同四半期比4.0%増）、営業利益は189百万円（前年同四半期比0.9%減）、経常利益は195百万円（前年同四半期比5.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は106百万円（前年同四半期比21.0%減）となりました。

各セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### 総合接着・樹脂加工

ベルト関連製品は、自動車・鉄鋼業界を中心に受注が底堅く推移しました。研磨関連製品は、次世代半導体用研磨パッドの販売拡大などにより、売上高は1,506百万円（前年同四半期比0.5%増）となりました。

#### 特殊設計機械

特殊設計機械につきましては、国内の設備投資全般は引き続き低調な状況にあるものの、当社は新規顧客の開拓が奏功し、メカニカルシールなどの受注が好調に推移した結果、売上高379百万円（前年同四半期比20.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べて149百万円増加し、6,802百万円となりました。これは主に、土地が123百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べて11百万円増加し、1,121百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が12百万円増加したことによるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べて137百万円増加し、5,680百万円となりました。これは主に、利益剰余金が58百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べて98百万円減少し、1,119百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、前年同四半期に比べ27百万円減少し、168百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が36百万円減少したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は、前年同四半期に比べ145百万円増加し、235百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が126百万円増加したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果支出した資金は、前年同四半期に比べ1百万円減少し、48百万円となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日の「2023年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,217,855	1,119,596
受取手形、売掛金及び契約資産	876,055	988,968
商品及び製品	112,395	110,690
仕掛品	586,375	535,362
原材料及び貯蔵品	409,502	423,138
その他	38,821	35,652
貸倒引当金	△420	△400
流動資産合計	3,240,585	3,213,009
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,949,202	1,949,348
減価償却累計額	△1,230,057	△1,223,344
建物及び構築物 (純額)	719,145	726,003
機械装置及び運搬具	1,396,811	1,459,499
減価償却累計額	△1,268,250	△1,296,370
機械装置及び運搬具 (純額)	128,560	163,129
土地	1,613,591	1,736,991
建設仮勘定	51,396	53,466
その他	246,795	247,256
減価償却累計額	△215,263	△218,288
その他 (純額)	31,531	28,968
有形固定資産合計	2,544,226	2,708,559
無形固定資産	7,489	7,014
投資その他の資産		
投資有価証券	693,072	717,831
その他	168,360	156,451
貸倒引当金	△637	△637
投資その他の資産合計	860,796	873,644
固定資産合計	3,412,512	3,589,219
資産合計	6,653,097	6,802,228

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	291,978	304,572
短期借入金	20,000	20,000
未払法人税等	78,657	61,210
賞与引当金	73,714	82,529
その他	195,760	194,452
流動負債合計	660,111	662,764
固定負債		
役員退職慰労引当金	242,382	250,866
退職給付に係る負債	175,647	176,127
資産除去債務	24,315	24,315
その他	7,324	7,170
固定負債合計	449,670	458,480
負債合計	1,109,782	1,121,245
純資産の部		
株主資本		
資本金	179,605	179,605
資本剰余金	275,336	275,336
利益剰余金	4,808,260	4,867,088
自己株式	△189	△189
株主資本合計	5,263,013	5,321,841
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	132,108	150,590
為替換算調整勘定	128,401	188,014
その他の包括利益累計額合計	260,510	338,605
非支配株主持分	19,792	20,536
純資産合計	5,543,315	5,680,983
負債純資産合計	6,653,097	6,802,228

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	1,814,325	1,886,258
売上原価	1,161,839	1,216,083
売上総利益	652,486	670,174
販売費及び一般管理費	461,310	480,797
営業利益	191,175	189,376
営業外収益		
受取利息	141	232
受取配当金	9,411	10,634
受取賃貸料	1,412	1,447
為替差益	5,116	—
その他	995	745
営業外収益合計	17,077	13,059
営業外費用		
支払利息	35	10
為替差損	—	6,509
その他	5	—
営業外費用合計	41	6,519
経常利益	208,210	195,916
特別利益		
受取補償金	1,384	—
保険解約返戻金	—	5,686
特別利益合計	1,384	5,686
特別損失		
固定資産除売却損	2,157	37,861
新型コロナウイルス対応による損失	7,267	—
特別損失合計	9,425	37,861
税金等調整前四半期純利益	200,170	163,741
法人税等	64,911	57,613
四半期純利益	135,258	106,127
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	795	△122
親会社株主に帰属する四半期純利益	134,463	106,250



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	135,258	106,127
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△25,136	18,482
為替換算調整勘定	74,310	60,480
その他の包括利益合計	49,174	78,962
四半期包括利益	184,432	185,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	181,181	184,345
非支配株主に係る四半期包括利益	3,251	744

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	200,170	163,741
減価償却費	58,998	57,473
のれん償却額	5,103	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△217	△28
賞与引当金の増減額 (△は減少)	12,641	8,605
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	7,052	△557
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,727	7,873
受取利息及び受取配当金	△9,552	△10,867
助成金収入	△484	—
支払利息	35	10
有形固定資産売却損益 (△は益)	1,896	—
有形固定資産除却損	260	37,861
保険解約返戻金	—	△5,686
売上債権の増減額 (△は増加)	76,407	△106,042
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△48,883	55,467
仕入債務の増減額 (△は減少)	9,671	11,225
その他	△64,264	21,985
小計	254,564	241,061
利息及び配当金の受取額	8,376	9,458
利息の支払額	△36	△11
法人税等の支払額	△67,437	△81,770
助成金の受取額	484	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	195,951	168,738
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△92,638	△219,245
有形固定資産の除却による支出	△79	△29,287
有形固定資産の売却による収入	1,350	—
無形固定資産の取得による支出	△2,732	△163
投資有価証券の払戻しによる収入	3,377	3,200
貸付けによる支出	△286	△428
貸付金の回収による収入	821	868
保険積立金の解約による収入	—	9,818
差入保証金の回収による収入	169	301
差入保証金の差入による支出	△1	△175
投資活動によるキャッシュ・フロー	△90,019	△235,111
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△49,964	△47,691
非支配株主への配当金の支払額	—	△442
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,964	△48,133
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,150	16,247
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	62,118	△98,258
現金及び現金同等物の期首残高	1,235,978	1,217,855
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,298,096	1,119,596

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,499,958	314,367	1,814,325	—	1,814,325
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,499,958	314,367	1,814,325	—	1,814,325
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	250,053	△21,472	228,580	△37,405	191,175

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	228,580
セグメント間取引消去	1,470
全社費用(注)	△38,875
四半期連結損益計算書の営業利益	191,175

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	総合接着・ 樹脂加工	特殊設計 機械	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,506,777	379,480	1,886,258	—	1,886,258
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,506,777	379,480	1,886,258	—	1,886,258
セグメント利益又はセ グメント損失 (△)	196,290	26,713	223,004	△33,627	189,376

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	223,004
セグメント間取引消去	7,980
全社費用（注）	△41,607
四半期連結損益計算書の営業利益	189,376

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。